

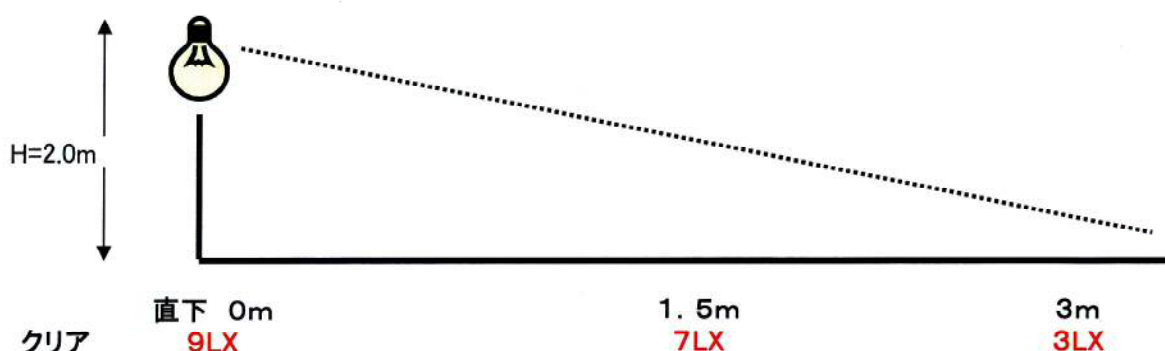
## DELED 防蛾灯LED

### 仕様

電圧(V)	85-265
素子数	90個
波長(nm)	585-590
消費電力(W)	3.3-3.7
全光束(lm)	110
材質	pc
口金	E26
サイズ(mm)	65 * 65 * 147
質量(g)	98.2
認証	CE/RoHS



### 照度測定結果



「黄色灯(500nm~600nm)は夜蛾に対し二つの効果が認められている。一つは夜間に暗適応しているの複眼を明適応させ、産卵活動などを抑制させる効果がある。この場合必要な照度は栽培作物面でおおよそ**1ルクス以上**必要である。(夜蛾は夜行性であり、昼間は活動しない)もう一つは夜蛾類は黄色光を嫌う為、作物栽培場所への侵入を防ぎ、飛来を忌避させることができる。黄色灯の照度と害虫のトラップ数の関係は、受光面が**10ルクスの時0.0匹、5ルクスで平均0.3匹、2ルクスで1.3匹**となり、光源に近いほど黄色光の忌避効果が高くなり、黄色光による忌避効果が認められる」とある。(野村健一:吸蛾類に対する電灯照明の効果に関する二三の考察、千葉大学園芸学部学術報告第14号30頁)

今回の照度測定により通常の電照間隔である3m間隔の1個飛ばし(6m間隔)で必要照度が確保できることがわかった。**10aに換算すると約30個のLEDが必要となる。**

蛍光灯電球タイプの黄色灯が約2000円で流通しており寿命は約6000時間と想定される。使用期間が6月から10月迄で、1日12時間電照として153日。年間1836時間の電照時間になるので蛍光灯は約3.3年で交換する事になる。

防蛾灯LEDの定格寿命は**40000時間(約21年)**なので、蛍光灯電球タイプを使用していた場合蛍光灯電球を7回の交換する必要となる

新規導入、現在蛍光灯を使用していて交換時期がきている生産者には充分購入メリットがあると思われる。

### 効果のある害虫

- ・アケビコノハ・アカエグリバ・ヒメグリバなど果樹の吸蛾類・シロイチモジヨトウ
- ・ハスモンヨトウ・オオタバコガ・タバコガ・タマナギンウワバ・ベフキノメイガ
- ・コクロヒメハマキ・アワノメイガ・スジキリヨトウ・チャノホソガ・チャバネアオカメムシ
- ・ウスモンミドリカスミカメなど。

※ただし被害をゼロにすることはできません。

鍋清株式会社 開発課  
052-321-9561